

【冒頭】

●ドーハフォーラム2018初日の閉会挨拶を行えることは光栄。ムハンマド・カタール国副首相兼外相の温かい招待により、フォーラムに参加できることをうれしく思う。

【相互につながる世界における政策形成】

- 本フォーラムの主要テーマは「相互につながる世界における政策形成」。重要テーマに世界の関心を引こうとする、カタール政府とそのパートナー国政府の努力を評価。
- 日本は情報通信技術の先進技術を、中東地域の安定と安全のために活かそうとしている。中東和平プロセスを支援するため、「ジェリコ農産加工団地(JAIP)」計画を、ICT分野を中心に更新することを決定。

【新たな課題に対する日本の行動】

- 海洋秩序の分野では、日本は「自由で開かれたインド太平洋」という考え方の下、法の支配や航行の自由、自由貿易をいった基本原則を推進。
- 日本はサイバー空間における法の支配を推進。また、日本は信頼醸成措置(CBMs)の推進に取り組んでおり、既に米、豪、EU、ロシア、ASEAN等14カ国の国・地域との間でサイバーに関する二国間及び多国間協議を実施。近い将来、中東諸国との間で同様の協議が行えることを望む。将来は、能力構築支援分野においても、この地域の諸国と共同していきたい。
- 河野四箇条の下、中東地域に平和と安定をもたらすため、日本は中東における対話を促進し、ファシリテートすることによって、より積極的な役割を果たす決意。中東における民族、宗教、宗派の中で中立的であり、中東地域との外交関係において負の足跡がないという独自の立場を活かす。

【結語】

●本フォーラムが、より良い人類の未来に向け、現出しつつある世界共通の課題への対処に役立つアイデアを生み出して明日閉幕することを期待。